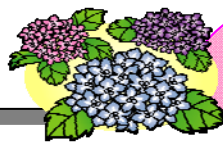


# 国際・ボランティア部 / 委員会 通信

学級掲示

6月号 赤十字のお知らせ



部員募集中!!  
全国高文祭を一緒に盛り上げよう!

## 赤十字とは

赤十字の創始者アンリー・デュナンが、1859年、戦場で「苦しむ人を敵味方の区別なく救護する。」という赤十字の着想を得てから150年を迎えました。赤十字は「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」という7つの普遍的な原則（赤十字の基本原則）のもとに、世界最大のネットワークを持って活動する人道機関です。

## 1. 血液事業について

皆さんは献血というものをご存知ですか？本日は献血についての特集をしてみようと思います。これを機に献血について興味をもってもらえるとうれしいです。日本赤十字社は、1952年（昭和27年）4月に日本赤十字社中央病院（現日本赤十字社医療センター）に日本赤十字社血液銀行東京業務所を開設し、血液事業を開始しました。その後も、受入れ施設を整備するとともに献血の周知、普及に努めてきました。

## 2. 青少年赤十字について

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、様々な活動を学校教育の中で展開しています。



口蹄疫に関する  
義援金募金報告  
総計で131,577円、  
集まりました。

先日、集まった義援金を宮崎県共同募金会へ送りました。ご協力ありがとうございました！今後も引き続き事務室前にて受け受けます！

四日間募金活動をして回りましたが、正直これほどのお金が集まるとは思いませんでした。活動した後は、募金してくれた皆さんの笑顔と、お金が落ちてくるほど重くなった募金箱に感動しながら集計していました。今実際に被害にあわれている方の苦勞は、私たちには到底理解できないのかもしれませんが、私たちができる最大限のことを学校全体で取り組むことができよかったです。これをきっかけに、これからも学校全体で取り組んでいければと思います。ご協力ありがとうございました。

2F 郷之原里穂  
(ボランティア委員会副委員長)

## 今月のピックアップ記事！

毎月送られてくる雑誌の中からピックアップします。

クロスロード 6月号ではボランティアとして海外で授業をしている方々の授業づくりについての特集をしていました。皆さんはボランティアとして海外で授業を行う人がたくさんいるのを知っているでしょうか？自動車設備、環境教育、美術、保健衛生、理数科等様々な授業が日本人によって行われています。ここでは5人の方の体験が書かれていました。最初は緊張でおどおどしていたり、生徒に好かれたいという気持ちで生徒を叱れなかったりすることが多く、授業で失敗したりということが多かったのですが、それではだめだと思い、厳しくしかったり、自分のスタイルを確立していったそうです。中には授業をした経験がなく、海外で初めて授業をするという人もいます。ここで紹介されていた方以外にもたくさんの方がボランティアとして活動しています。授業をするためではなく、障害がある生徒の支援をする人もいます。

皆さんはこのようなボランティアをする人や設備が整っていない地域で学習する生徒について考えたことがありますか？私たちは恵まれた環境で学習することができます。私はこのクロスロードを読んでいろんなことを考えました。課題や部活で忙しいと思いますが、是非クロスロードを読んでみて下さい。

担当 2年C・D級

D級 佐々木 美樹